

＜白金標準、WPIC 第3四半期 PGM 需給報告待ち・・・＞



(出所：オアシス)

パラジウム価格の下落の波紋を受けて PGM（プラチナ・グループ・メタル）の NY 白金は一時 850 ドルを下回り、白金標準先物も 10 月の安値 4065 円に迫る 4083 円まで下値を試している。しかし消費者物価指数の低下、小売売上高や鉱工業生産の発表を受けてインフレ抑制から景気配慮の政策への転換が期待される雰囲気を含めたことから、950 ドルまで下げたパラジウム価格が 1050 ドルまで急反発し、独自の材料でない思惑からの売りで値下がりした白金価格は、巻き戻しを強めて NY 市場で 900 ドルを回復し、白金標準先物も 4352 円まで 269 円の上昇を短時間でやっている。

特に今週は 21 日に WPIC 第 3 四半期 PGM 需給報告の発表が控えており、9 月 6 日に発表された第 2 四半期 PGM 需給報告では、2023 年のプラチナ需給バランスは 30 トンの供給不足の予想であり、第 3 四半期は南アフリカの冬の時間帯で電力不足の負荷制限を受けた鉱山稼働率は低下している事を考慮すると 30 トンの供給不足の改善は難しく思え、供給不足を再認識すると白金標準先物は 4400 円へ向けた値動きを強めて来ると思われる。

＜テクニカル＞

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が切り上げながら、**シグナル** は下げ渋り、RCI では **短期** が上昇し、**長期** は切り下げている。特に **200 日移動平均線** が **4286 円** で維持しながら下値抵抗を示すなど下げ渋る値動きに思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,360,000 円(2023 年 11 月 20 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 73,920 円(2023 年 11 月 20 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>